

認知症予防フォーラム&映画上映会

レビー小体型認知症のドキュメンタリー映画を上映します。

この映画は、小児科のお医者さんがレビー小体型認知症を発症した妻との生活を勇気を持って公開してくれたものです。

誰にでも起きる可能性のある認知症という病に愛する人がなったとき、一体、何が大切なのでしょう。そんな問いかけを観る者ひとりひとりに問いかけてくれる貴重な記録映画です。

レビー小体型認知症は、今なお、お医者さんの中でも、正しく診断できる人が少なく、他の認知症と間違っただけで診断されて、結果的に間違った薬の処方や対処方法がとられていることが多い病気です。

この機会にレビー小体型認知症のドキュメンタリー映画と発見者である小阪憲司医師の講演を通して、理解を深めていただき、ひいては認知症全般にわたっての予防運動を青葉区にて皆様と一緒に進めてまいりたいと願っております。



レビー小体型認知症の発見者
小阪憲司 医師

満席御礼!



日時

平成27年6月30日(火)
13:00~16:40 (開場: 12:30)

会場

アートフォーラムあざみ野
レクチャールーム

定員194名

申込み多数のため、ご予約で満席締切となっています。当日入場券はございませんので、ご了承ください。

第1部

映画上映会

13:00-14:30

映画「妻の病—レビー小体型認知症—」は、四国・南国市の豊かな自然に生まれ、支え合って生きてきた、夫である一人の医師と認知症の妻との10年間に及ぶ「いのち」を巡る記録です。

「まるで、夢のようだね・・・」

認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかけます。うなづき合う二人。この映画は認知症のドキュメンタリーというより、病を通じて絆を深める、ある夫婦の物語とも言えるでしょう。

第2部

講演会

14:50-15:45

小阪憲司医師によるレビー小体型認知症についての講演です。まだまだ見過ごされたり、誤った診断を受けることが多いレビー小体型認知症について、分かりやすく説明します。

15:50-16:40

医療法人社団folkモアの確田茂常務理事が認知症の早期発見のための認知症予防健診について講演します。

<主催> 医療法人社団folkモア

<後援> 青葉区役所 高齢・障害支援課